

テグーの飼い方

※この飼い方については、我が家での実践であって、標準的な飼育方法を保証するものではありません。

1. ケージ

基本的には金網ケージにステップやハンモックなどを取り付けて使用します。

1匹であれば、イージーホーム40ハイ、多頭飼育であれば、イージーホーム60ハイ、60ロー、80など、頭数に合わせてケージの大きさを変えてください。我が家では、ペアは40ハイ、3匹以上は60ハイで飼育しています。

その他、高さ42センチ程度の頑丈な作りの衣装ケースで飼育することも可能です。

(タッグボックスシリーズなど)

プラケースは齧る可能性が高いので、おすすめしません。

グラスハーモニーシリーズは、給水ボトル取り付け部分の穴を齧ります。

使用するときは、側面の給水ボトル取り付け部分に魚焼き網を針金で頑丈に取り付けて、齧られないよう工夫してください。

なお、テグーが若い間は、高さのある金属ケージでは落下事故による骨折の危険性があります。体がある程度大きくなるまでは、60ローや衣装ケースなどで飼育してください。

ちなみに我が家では、出産が近づいたメステグーは、衣装ケース・グラスハーモニー等に引っ越しさせて、出産・育児中は平面飼育を行っています。

2. 床材と寝床等

衣装ケース等の平面飼育は、バミューダヘイの牧草を一面に敷き詰め、汚れた部分は交換します。

イージーホーム金網ケージでは、底トレイにペットシーツを敷いています。

巣箱は特に必要ではありませんが、安心して眠れる場所（ハンモックやふわふわタオル、モルモット用隠れ家など）を作ってあげると良いでしょう。

またテグーは、最低25センチ以上の回し車を設置するとよく遊びます。サイレントホイールまたはメタルサイレントを使用します。

※メタルサイレントは、専用シートを取り付けてください。メタルサイレントをむき出しで使うと、尾切れする危険があります。

3. エサと水

①主食…チモシー（1番刈り） ※2番刈り、3番刈りも食べます

妊娠～育児中、成長期のテグーにはアルファルファも加えます

②副食…テグー用ペレット（ミックスタイプでない、ペレットのみの商品）

おやつは、必ずしも必要ではありません。

牧草の種類（オーツヘイなど）を増やしておやつとして与えるのは大丈夫です。

水は、給水ボトルで行います。テグーはプラスチックを齧るので、給水ボトル本体はケージの外に設置し、ケージ内には金属製の飲み口だけを挿入してください。

衣装ケース等飼育の場合は、鳥用の陶器水浴び容器に水を入れ、適宜交換してください。

4. 砂浴び

テグーは砂浴びが大好きです。余裕のある大きさの瓶に砂を入れ、定期的に砂浴びをさせてください。（テグーサンド、チンチラサンドなどを使用）

5. 毎日の世話

朝にエサと水を与えます。掃除は1日1回、汚れた牧草を交換したり、木製ステージのおしっこ汚れをウェットティッシュでふき取る、床の汚れ掃除等のお世話をします。

6. 大掃除

週に1度、ケージを丸洗いします。洗剤は使いません。

7. 飼育環境について

我が家では、他の動物もいるため、夏の昼間はエアコン26度設定、冬は24度設定で1日中稼働しています。

8. 繁殖について

オスは幼いメスに対しても交尾行動をするため、メスは最低でも生後6か月を経過するまでは、オスと一緒にしないでください。

相性が良ければ、妊娠・出産を繰り返します。1度に4～10匹の赤ちゃんを産みます。

妊娠期間は約3か月、離乳は生後約6週間を目安にしてください。